

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				R2年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
余市町	①自立支援・介護予防・重度化防止	介護予防教室の継続実施、新規立ち上げ(よいちニコニコ広場 定員20名)	新規の事業を開始し、介護予防の充実を図る	介護予防教室の新規立ち上げ	よいちニコニコ広場(歌声サロン・ゴムバンド体操)は週1回を通常実施。ふまねっと教室は実施箇所を1カ所→2カ所に拡充。	○	新型コロナ感染症の拡大により予防教室の多くが中止となりましたが、参加人数の制限や感染予防を徹底し再開することができた。ただし、隔週になるなど提供回数が減少となったため、新たな仕組みづくりが求められる。
余市町	①自立支援・介護予防・重度化防止	ボランティアポイント事業の拡大(特定技能所持者に業務が集中する傾向があるため、その他の需要について把握し拡充する)	ボランティア登録者を増やし、未実施施設に対し受け入れの要請を行う	ボランティア登録者と受け入れ施設をマッチングし活動を促す。30年度末現在登録人数58人⇒65人	ボランティアポイント事業を拡大(年度末登録者数69名・登録事業所10カ所)	○	ボランティア登録員は、研修会の効果もあり、目標人数が達成できた。また、登録事業所についても1カ所増の、10カ所指定となり拡充している。しかしながら、今年度は新型コロナ感染症拡大の影響があり、受け入れが中止となった時期が長く、ボランティア参加実績は伸び悩んだ。
余市町	①自立支援・介護予防・重度化防止	生活支援体制整備事業協議体を設置し地域ぐるみによる支援体制づくりに努める	軽度の高齢者の多様な生活支援や社会参加のニーズに応えていくための取り組みとして、地域の課題を洗い出し、生活支援体制整備事業協議体を設置し話し合いを進める。	地域の課題を洗い出した上で「支え合いの地域づくり」について話し合う協議体の設置、さらにはその調整役となる生活支援コーディネーターの配置など、(仮称)余市町生活支援体制整備事業を実施します。	生活支援体制整備事業は余市社協へ委託し、SCを継続して配置している。【事業啓発】R2.5月号広報に事業周知の為にチラシ配布(事業概要、SCの活動について)、社協HPIに事業概要掲載。また、11月講演会を予定していたが、感染症拡大により中止となる。R3.3月号広報にチラシ配布(SCの活動報告、区会活動の紹介)。【地域資源発掘】R2.5月に区会を対象とした「高齢者の生活や活動に関するアンケート」調査を実施。8月集計結果を区会へ配布するとともに、社協HPIに掲載。協議体については、R3.3月に書面会議開催済。	○	生活支援体制整備事業協議体は、新型コロナ感染症拡大の影響で、書面会議開催となる。アンケート調査を実施し、地域課題を把握することができたが、コロナ禍で地域に関わるのが難しいと感じている。SCが地域と関わるために、小地域を対象に事業を実施するなど感染症対策に努め不安を払拭する。
余市町	①自立支援・介護予防・重度化防止	医療・介護連携推進協議会の設置(医療ニーズと介護ニーズを併せ持つ高齢者を地域で支えていくために、医療・介護連携が必要である)	医師、歯科医師、薬剤師等の医療関係職種と介護福祉士等介護関係職種等との連携が重要であり、医療・介護連携推進協議会を設置する。	医療・介護連携推進協議会を設置し、連携を進め、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしが可能な限り続けられるような環境を整える。	医療・介護連携推進協議会については、R2.9月及びR3.3月と書面会議を開催した。R2.9月からリモートによる部会(7回開催)で課題把握や抽出方法について協議を重ねた。部会での協議から業について課題と捉え、部員以外の薬剤師の参加を求め協議をすることができた。また、医療機関へのアンケート調査結果を含め、薬剤師との協議から把握した内容をガイドブックにまとめるためのたたき台を作成した。	○	医療・介護連携推進協議会については、部会の開催を継続し、課題の抽出や資源の把握について協議を深めるとともに、ガイドブックを作成する目的が全体での意見交換ができず、細部の協議が難しい。協議会、部会の開催が書面やり取りになっているため、伝え方の工夫が必要。

◎計画の進捗状況について(給付費関係)

(1) 居宅サービス・地域密着型サービス

①介護給付

(単位:千円、人/年)

		2019(R1)年度			2020(R2)年度		
		計画値	実績値	実績/計画	計画値	実績値	実績/計画
(1)居宅介護サービス							
①訪問介護	給付費	132,657	103,813	78.3%	133,634	87,925	65.8%
	利用者数	4,884	4,036	82.6%	4,908	3,739	76.2%
②訪問入浴介護	給付費	5,309	1,813	34.2%	5,408	1,880	34.8%
	利用者数	72	51	70.8%	72	60	83.3%
③訪問看護	給付費	38,121	36,531	95.8%	37,553	37,104	98.8%
	利用者数	1,224	1,157	94.5%	1,224	1,199	98.0%
④訪問リハビリテーション	給付費	7,358	8,632	117.3%	7,390	8,359	113.1%
	利用者数	312	283	90.7%	312	289	92.6%
⑤居宅療養管理指導	給付費	3,601	4,879	135.5%	3,601	5,092	141.4%
	利用者数	372	650	174.7%	372	667	179.3%
⑥通所介護	給付費	167,526	139,120	83.0%	176,343	113,121	64.1%
	利用者数	3,540	3,466	97.9%	3,660	2,715	74.2%
⑦通所リハビリテーション	給付費	64,942	63,308	97.5%	74,138	64,852	87.5%
	利用者数	1,284	1,114	86.8%	1,320	1,025	77.7%
⑧短期入所生活介護	給付費	33,892	40,342	119.0%	36,299	51,356	141.5%
	利用者数	420	434	103.3%	456	391	85.7%
⑨短期入所療養介護	給付費	38,582	39,761	103.6%	37,549	39,924	106.3%
	利用者数	240	227	94.6%	240	213	88.8%
⑩特定施設入居者生活介護	給付費	122,609	118,954	97.0%	124,473	135,382	108.8%
	利用者数	684	656	95.9%	696	735	105.6%
⑪福祉用具貸与	給付費	36,369	39,483	108.6%	36,446	41,553	114.0%
	利用者数	3,348	3,848	114.9%	3,360	3,904	116.2%
⑫福祉用具購入	給付費	2,646	2,308	87.2%	2,646	3,154	119.2%
	利用者数	72	64	88.9%	72	84	116.7%
⑬住宅改修	給付費	5,737	7,086	123.5%	5,386	6,622	122.9%
	利用者数	108	109	100.9%	108	105	97.2%
(2)居宅介護支援							
①居宅介護支援	給付費	109,034	102,799	94.3%	109,913	102,848	93.6%
	利用者数	7,848	7,098	90.4%	7,908	7,029	88.9%

(3)地域密着型サービス							
①認知症対応型 通所介護	給付費	1,467	846	57.7%	1,848	1,402	75.9%
	利用者数	24	18	75.0%	36	42	116.7%
②認知症対応型 共同生活介護	給付費	288,972	294,540	101.9%	298,414	309,038	103.6%
	利用者数	1,152	1,201	104.3%	1,188	1,221	102.8%
③小規模多機能型 居宅介護	給付費	15,657	33,413	213.4%	17,196	34,169	198.7%
	利用者数	96	216	225.0%	108	204	188.9%
④定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	給付費	13,524	14,634	108.2%	14,353	14,538	101.3%
	利用者数	156	139	89.1%	168	111	66.1%
⑤地域密着型通所介護	給付費	54,157	54,282	100.2%	56,034	81,515	145.5%
	利用者数	1,056	950	90.0%	1,092	1,327	121.5%

- ・訪問介護、通所リハビリテーションについては、令和2年度当初からの本格的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響等により、当該年度の実績値が計画値を大きく下回っています。
- ・訪問入浴介護については、入浴の支援を通所サービス等の他のサービスにより対応している方も多いことなどから、令和元年度・令和2年度とも実績値が計画値を大きく下回っています。
- ・居宅療養管理指導については、医師・歯科医師・薬剤師等が通院困難な在宅高齢者に対し、心身の状況と環境等を把握し、療養上の管理指導を行い療養生活の質の向上を図るサービスとして位置づけられており、町内の在宅高齢者のニーズが増えたことから、令和元年度・令和2年度とも実績値が計画値を大きく上回っています。
- ・通所介護については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響に加え、令和2年4月に町内1事業所が地域密着型通所介護に移行したことから、当該年度の実績値が計画値を大きく下回っています。
- ・短期入所生活介護については、令和2年度において前年度よりも利用人数が減った反面、利用者1人あたりの利用日数が増えたことから、当該年度の実績値が計画値を大きく上回っています。
- ・認知症対応型共同生活介護については、地域における認知症高齢者の生活の場として重要な役割を担っており、令和元年度・令和2年度ともに計画値と実績値に大きな乖離はありません。
- ・小規模多機能型居宅介護については、通い・訪問・宿泊を柔軟に組み合わせながら多様なニーズに対応できるサービスとして、町内においても定着してきており、特に要介護者における当該サービス利用が伸びていることから、令和元年度・令和2年度とも実績値が計画値を大きく上回っています。
- ・地域密着型通所介護については、令和2年4月に町内1事業所が通所介護から移行したことから、当該年度の実績値が計画値を大きく上回っています。

②介護予防給付

(単位:千円、人/年)

		2019(R1)年度			2020(R2)年度		
		計画値	実績値	実績/計画	計画値	実績値	実績/計画
(1)介護予防サービス							
①介護予防 訪問看護	給付費	5,072	3,342	65.9%	5,072	2,459	48.5%
	利用者数	840	140	16.7%	840	110	13.1%
②介護予防 訪問リハビリテーション	給付費	0	613	皆増	0	899	皆増
	利用者数	0	27	皆増	0	22	皆増
③介護予防 居宅療養管理指導	給付費	59	181	306.8%	59	242	410.2%
	利用者数	12	31	258.3%	12	41	341.7%
④介護予防 通所リハビリテーション	給付費	14,550	12,361	85.0%	14,550	11,025	75.8%
	利用者数	480	409	85.2%	480	331	69.0%
⑤介護予防 短期入所生活介護	給付費	181	197	108.8%	181	25	13.8%
	利用者数	12	7	58.3%	12	2	16.7%
⑥介護予防 特定施設入居者生活介護	給付費	1,236	2,612	211.3%	1,236	3,146	254.5%
	利用者数	24	38	158.3%	24	57	237.5%
⑦介護予防 福祉用具貸与	給付費	3,304	4,358	131.9%	3,304	5,145	155.7%
	利用者数	912	1,045	114.6%	912	1,122	123.0%
⑧介護予防 福祉用具購入	給付費	868	839	96.7%	868	1,255	144.6%
	利用者数	36	30	83.3%	36	42	116.7%
⑨介護予防 住宅改修	給付費	3,292	4,295	130.5%	3,292	3,673	111.6%
	利用者数	60	57	95.0%	60	53	88.3%
(2)介護予防支援							
①介護予防支援	給付費	5,874	6,427	109.4%	6,031	6,294	104.4%
	利用者数	1,344	1,461	108.7%	1,380	1,442	104.5%
(3)介護予防地域密着型サービス							
①介護予防 認知症対応型通所介護	給付費	0	0	—	0	0	—
	利用者数	0	0	—	0	0	—
②介護予防 認知症対応型共同生活介護	給付費	0	0	—	0	0	—
	利用者数	0	0	—	0	0	—
③介護予防 小規模多機能型居宅介護	給付費	10,547	3,632	34.4%	11,527	3,369	29.2%
	利用者数	180	72	40.0%	192	64	33.3%

- ・要支援者を対象とする介護予防訪問看護、介護予防小規模多機能型居宅介護については、要介護者を対象とする訪問看護、小規模多機能型居宅介護ほどの利用ニーズがなかったことから、令和元年度・令和2年度とも実績値が計画値を大きく下回っています。
- ・介護予防居宅療養管理指導については、要介護者を対象とする居宅療養管理指導と同様に、町内の在宅高齢者のニーズが増えたことから、令和元年度・令和2年度とも実績値が計画値を大きく上回っています。
- ・介護予防短期入所生活介護については、令和2年度において前年度よりも利用ニーズが減ったことから、当該年度の実績値が計画値を大きく下回っています。
- ・介護予防特定施設入居者生活介護については、町外の住所地特例施設に居住する要支援者の利用が増えたことなどから、令和元年度・令和2年度とも実績値が計画値を大きく上回っています。

(2) 施設サービス

(単位:千円、人/年)

	2019(R1)年度			2020(R2)年度			
	計画値	実績値	実績/計画	計画値	実績値	実績/計画	
(1)施設サービス							
①介護老人福祉施設	給付費	370,514	363,914	98.2%	375,193	354,036	94.4%
	利用者数	1,596	1,505	94.3%	1,608	1,400	87.1%
②介護老人保健施設	給付費	444,010	317,715	71.6%	447,889	323,638	72.3%
	利用者数	1,572	1,183	75.3%	1,584	1,184	74.7%
③介護療養型医療施設	給付費	9,266	9,592	103.5%	4,600	3,140	68.3%
	利用者数	24	25	104.2%	12	9	75.0%
④介護医療院	給付費	9,201	118,245	1285.1%	32,399	130,064	401.4%
	利用者数	24	338	1408.3%	84	399	475.0%

- ・介護老人福祉施設については、令和元年度・令和2年度ともに計画値と実績値に大きな乖離はありません。
- ・平成31年2月に町内2カ所の介護老人保健施設が介護医療院に転換したことにより、令和元年度・令和2年度ともに両サービスにおいて計画値と実績値に乖離がありました。